

	所 属	現代社会学部 現代社会学科
	専 攻	現代ビジネス専攻
	主な担当科目	現代社会学 キャリアデザイン入門 情報処理演習 基礎ゼミ
	氏 名	田上 大輔
	フリガナ	タガミ ダイスケ
	職 位	准教授
	学 位 等	博士(社会学)

研究内容・社会業績等

大学院在学中よりマックス・ヴェーバーの社会学理論を専門とし、特に彼の近代社会論・闘争論・秩序論を中心に研究を進めてきました。大学院修了後は非常勤講師として社会学の授業を担当し、論文執筆の経験をふまえて、日本語によるレポート作成や発表の指導にも力を注ぎました。

学生に「自らの考えを根拠をもって文章で伝える力」を身につけさせたいという問題意識から、日本語リテラシーと情報活用能力の育成を目的としたアカデミック・スキル演習を担当し、これをきっかけに日本語・情報教育の教材開発やチームティーチングによる共同研究にも携わることになりました。

その後は、情報教育に携わった経験を活かし、専門学校ではMOS試験対策やプログラミング科目を担当するとともに、日本での就職を目指す留学生クラスの担任として就職指導の経験を積み、企業担当者を招いた実践的な授業運営にも取り組みました。

また、他大学では留学生支援部署で実務を担いながら、キャリアデザインや日本語リテラシーなどの授業を担当し、留学生の就職支援企画にも携わるなど、教育と学生支援の両面で経験を積み、現在に至っています。

論文・書籍・資格等

著書

『社会がみえる社会学：時代と共に生きる社会学理論』（共著）宇都宮京子・小川祐喜子（編著）北樹出版 2015年

論文

「ブルデュー象徴闘争論との比較に見るヴェーバー闘争論の特質」（単著 査読あり）『日仏社会学年報』第20号 85-106頁 日仏社会学会 2010年

「M・ヴェーバーの西欧近代批判再考：機械的化石化と神々の闘争の対照性に着目して」（単著 査読あり）『年報社会学論集』第26号 123-134頁 関東社会学会 2013年

「規範理論と秩序問題：社会学における規範的問いと経験的問いに関する一考察」（共著 査読あり）『東洋大学人間科学総合研究所紀要』第17号 75-90頁 東洋大学人間科学総合研究所 2015年

「〈秩序〉と〈規範〉をめぐる一考察：エスノメソロジーとヴェーバー社会学の視点から」（共著 査読あり）『年報社会学論集』第28号 100-111頁 関東社会学会 2015年

「大学教育において求められる『新しい教養』の検討：江戸川大学における『アカデミック・スキル演習』の導入」（共著）『江戸川大学紀要』第28巻 2018年 1-8頁 江戸川大学

「『新しい教養』のための『チーム・ティーチング』：江戸川大学、基礎・教養教育センターの実践例」（共著）『江戸川大学紀要』第28巻 2018年 9-15頁 江戸川大学

「初年次教育のための教材・方法研究および〈メタボリック〉な教材・カリキュラムの開発：江戸川大学『アカデミック・スキル演習』の試みをつうじて」（共著）『Informatio：江戸川大学の情報教育と環境』第16巻 2019年 25-34頁 江戸川大学情報環境研究所

翻訳書

『古代ギリシアと社会学：マルクス・ヴェーバー・デュルケム』（共訳）ジョージ・E・マッカーシー著 樋口辰雄・田上大輔訳 尚学社 2017年

学生へのメッセージ

社会には、あらかじめ答えの定まっていない問題が数多くあります。大学での学びは、単に正解を覚えるだけでなく、根拠を積み重ねながら自分の頭で考え抜き、自分の言葉で表現することが求められます。授業では、一人ひとりが自分の考えを言葉にし、学友と議論しながら考えを深める時間を大切にしています。在学中から積極的に学び、将来の目標に向かって確かな土台を築いていきましょう。